

大学コンソーシアムひょうご神戸  
2023年度 第4回 国際交流委員会  
議事次第

日 時：2024年2月2日（金）持ち回り開催

委員校：兵庫県立大学（委員長校）、神戸市外国語大学（副委員長校）、明石工業高等専門学校  
芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、  
聖和短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、  
神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、  
神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、  
園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、  
兵庫大学、兵庫大学短期大学部（計28校）

I. 審議事項

1. 「2024年度 国際交流委員会 事業計画・予算（案）」について（資料1）

II. 連絡・調整事項

1. 2023年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について  
第5回委員会 3月：2023年度 事業報告・決算（案）

以上

<資料一覧>

資料1：【理事長名依頼状】2024年度事業計画・予算（案）及び2023年度事業報告・決算（案）の作成依頼

資料2：2023年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案

資料3-1：2024年度 国際交流委員会 事業計画（案）

資料3-2：2024年度 国際交流委員会 事業予算（案）

2024年1月吉日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
事業委員会 委員長 各位

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
理事長 中井 伊都子

2024年度事業計画・予算（案）及び2023年度事業報告・決算（案）  
の作成について（依頼）

拝啓 寒冷の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当コンソーシアムの活動に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして、下記のとおりご提出いただきますよう、よろしく願いいたします。

なお、2024年度事業計画の作成にあたっては、2023年度の各事業委員会の自己評価をもとに企画運営委員会及び理事会にて作成した改善提案の内容を踏まえてご検討いただきますようお願いいたします。ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

敬具

## 記

- 2024年度事業計画・予算（案）及び2023年度事業報告・決算（案）の作成・提出
  - 2024年度事業計画・予算【鑑】（案）  
提出期限：2024年2月19日（月）正午
  - 2024年度事業計画・予算【詳細】（案）  
提出期限：2024年5月9日（木）正午  
※第6回理事会(1/31)において来年度の各委員会事業に対する予算が承認されました。  
委員会事業予算（総額）：600万
  - 2023年度事業報告・決算（案）  
提出期限：2024年3月29日（金）正午
- 今後のスケジュール
  - 「2024年度事業計画・予算（案）」  
2024年 3月28日 第7回理事会にて審議・決定  
2024年 6月（予定） 定時総会にて報告
  - 「2023年度事業報告・決算（案）」  
2024年 4月（予定） 2024年度第1回理事会にて審議、定時総会に上程  
2024年 6月（予定） 定時総会にて審議・決定

## (添付書類)

- 添付1) 2023年度 各事業委員会活動の自己評価に対する改善提案
- 添付2) 2024年度 【記入用】事業計画・予算（案）
- 添付3) 2023年度 【記入用】事業報告・決算（案）

以上

## 2023年度事業委員会への改善提案について

## ①国際交流委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施	4	4	日本学生支援機構（JASSO）受託事業の5年目、兵庫国際交流会館を学生を中心とした地域の国際交流・留学生支援拠点を築くことはできている。引き続き、日本学生支援機構（JASSO）受託事業の採択を目指し、築いた拠点でコンソの特徴を活かし、時代の潮流を鑑み、留学生、学生の成長支援、兵庫県の発展に繋がる事業展開を期待する。また、これまで当事業内でD&I時代の表現力の養成の一環で広報活動を行ってきた企画学生スタッフに、更なる学びのアウトプットの場として、当コンソ全体の広報活動を提供し、より多くの学生、留学生の波及効果を及ぼす表現力・企画力を身に付ける場とすることも期待する。	各年参加者数500名以上	1,163人（2023年10月末時点）	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の80%以上 （期間中2回測定）	95%以上の国際理解
事業報告②	<加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業> ・学生海外派遣プログラム ・模擬国連演習（JENMUN Japan University English Model United Nations） ・事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	3	4	自学の国際交流プログラムをコンソ加盟校へ開放することで、プログラムの参加者の多様性の拡充に貢献している。引き続き、多くの日本人学生・留学生に国際交流の機会を提供し、グローバル社会で活躍する人材の育成に貢献することに加え、兵庫県全体の留学生の入学、就職を促進するようなプログラムの実施も期待する。	プログラム数10件以上/5年間 （中長期Ⅱ期）	6件（中長期Ⅱ期5年間通算）		97%以上の国際理解

## ②学生交流委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	<テーマ型の学生交流プロジェクトの実施> WILL BE プロジェクト・地域子育て支援拠点・こどもの居場所でのボランティア等活動	2	3	地域において、加盟校ならびに行政が有する子育て支援施設や子どもの居場所と連携して、学生が日常生活の延長線上でボランティア活動ができる仕組みができていることは評価できる。また、外部資金を活用することで、学生の活動交通費等を手当し、学生の経済的事由での負荷を軽減できている点も評価できる。今後は、この取組の認知度を高め、活動が活発化することを期待する。	参加加盟校数10校以上/年	6校	各年参加者数50名以上	9名
事業報告②	<テーマ型の学生交流プロジェクトの実施> WILL BE プロジェクト・ヴィクトリーナ姫路 スポーツビジネスコンテスト	3	4	地元企業・協賛企業との連携による本プロジェクトは継続することにより、プログラムの内容も深まり、学生自身の成長や地元企業理解に寄与していることがうかがえる。今後も、地元企業等との連携を図りながら、人材育成プログラムとしての本コンテストを継続することを期待する。		10校		47名
事業報告③	<学生発信ブランディング> 加盟校・学生の地域活性化に関わる取組広報の実施	2	3	コンソHP上にて「地域で輝く学生」と題して、学生交流事業「WILL BEプロジェクト」の活動PRに加え、各加盟校の特長ある地域活動を通じて、コンソーシアム全体の認知度を高める取組は重要である。次年度も引き続き、広報活動の活発化に取り組んで頂きたい。	各加盟校からの情報提供/年1回以上 情報公開数40取組以上/年	2回	情報公開数200取組以上	5取組
事業報告④	<学生発信ブランディング> 大学間連携組織を活用した県民向け防災施策PR動画作成業務	2	3	阪神・淡路大震災を経験したコンソーシアムとして、震災を知らない世代の加盟校学生たちが、兵庫県の公式の防災啓発動画を作成することは貴重な機会であり、意義のある活動であったといえる。今後も機会があれば、震災の記憶の継承ならびに、頻発する自然災害に備えることができる学生の育成を期待する。	参加団体1団体以上 個人参加20名以上	18名（1団体含む）	参加加盟校数10校以上/年	7校

## ③教育連携委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	単位互換事業の実施	3	4	コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、学生の生活様式や従来の対面授業中心の授業形態に戻ってきた影響もある中時代の趨勢とともに、コンソーシアムの単位互換事業に対しても、新たな期待が寄せられると思われる。教育のICT化や共同開講など学生へ多様な学びの機会の提供について引き続き、検討頂きたい。	送り出し校数・5校/年	6校	各年開放科目数10科目以上	開放科目数82科目
事業報告②	多様な学修機会の提供	3	3	継続的な加盟校の教育資源の共有と相互連携の取組として、加盟校の公開講座を広く開放し、多様な学生の交流を促進し、学修経験の強化を引き続き図って頂きたい。また、eラーニングシステムについても、引き続き、加盟校全体に周知を行い、加盟校全体のICTを活用した教育資源の向上の相乗効果を行って頂きたい。	参加者数50名以上/年	934名	各年プログラム数5件以上	17件

## ④キャリア委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	3	4	意見交換会では大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供することで、現在の地域ニーズ等を共有し、現状を踏まえたキャリア支援を学生に行うことで、学生の県内企業理解促進に繋がっていることは評価できる。また、学生においては、県内企業の経営者や若手社員との交流会により、県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することを期待している。対象者(教職員・学生)のニーズ等を検証のうえ、来年度の事業受託に向けて準備を進めて頂きたい。	各年参加者数500名以上 （学生：450名以上 教職員：50名以上）	学生：87名・教職員：57名 （2023年11月末時点） ※年度未までに目標達成見込み	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合： 参加学生の70%以上	兵庫県内企業理解が深まった ：参加学生の88.9%
事業報告②	県内企業・団体等の魅力を情報発信	3	4	掲載企業数は目標を上回って達成している。留学生の採用情報に加えて、今年度は情報の充実を図るため「ミモザ企業」「地域未来牽引企業」など学生が就職先企業を考える際に役立つ情報を掲載している。引き続き加盟校や県内企業と連携して、協力企業の開拓及び学生に有益な情報の効果的な発信の仕組みの構築について、引き続き取り組んで頂きたい。	企業情報の追加掲載、2種類以上	2種類の情報を追加掲載 （2023年11月末時点）	情報公開企業・団体数120社以上	153社の企業・団体情報を掲載 （2023年11月末時点）
事業報告③	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム	4	4	当該事業は今年度より、キャリア委員会事業として実施している。「ひょうご留学生インターンシップ」は、日本での就職を希望する留学生および留学生を採用したい地元企業にとって過去15年間にわたり成果を出してきたプログラムであることから、来期も、大学・企業・コンソの役割分担を整理しながら当プログラムの持続可能な形態を検討し、推進して頂きたい。また、「外国人向け合同企業説明会」は、日本での就職を希望する留学生と地元企業双方が出会える貴重な機会となっており、内定に繋がる成果を出している。来期も加盟校および県内の経済団体や行政機関との連携を深めながら実施して頂きたい。	参加留学生数：500名以上	参加留学生数：855名		日本企業・文化理解が深まった ：参加学生の100%
事業報告④	外国人留学生採用ワンストップ支援事業	4	4	初年度は、コンソの従来の留学生の就職支援をベースに、県内の経済団体や国際交流機関や行政との連携を強化し、支援窓口としての基礎を築くと共に、窓口対応以外にも、個別企業説明会等、留学生と企業がより就職・採用に繋がる支援も開始した。次年度は築いたネットワークを活用して就職実績に繋げることを期待する。	参加者数：50名以上	101名 134社 （2023年10月末時点）		86.9%以上の日本企業文化理解

## ⑤ 高大連携委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	3	4	県下大学と高校の高大連携に関する課題を共有し、具体的な課題についての意見交換を継続できていることは評価できる。引き続き、高大一貫した教育の提供、人材育成の取組を推進してほしい。	意見交換会等の実施/年1回以上	12/11開催予定 (計画通りに進めば達成予定)	各年参加校数20校以上	12/11開催予定 (計画通りに進めば達成予定)
事業報告②	加盟校の魅力を情報発信	3	4	高大連携に関する情報共有の一環として、ホームページの掲出方法やデザインを改善し、生徒が加盟校の情報をより分かりやすく得られるようにした点は評価できる。今後は、高校並びに高校生に情報が伝わりやすい仕組みや方法を検討の上、次年度以降も継続頂きたい。	大学コンソーシアムひょうご神戸 ホームページへの情報掲載 アンケート等の実施/年1回以上	高大連携委員会アンケート実施 (2023年5月19日～26日)に基づき、 ホームページに随時情報掲載	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上	年度内に提供予定

## ⑥ FD・SD委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	4	4	約半年間で活動指標・達成目標ともに達成されており、加盟校にも認知が広がっていることは評価できる。実施内容に関するアンケート結果から、今後も継続的に加盟校のニーズを踏まえFD・SDへの取組を進めて頂きたい。	参加者数100人以上/年	1,176名	各年セミナー5件以上	13件(2023年10月31日現在)
事業報告②	<FD・SD情報交換会、セミナー等の開催> 大学教育等に関する講演会等の開催	4	4	大学運営に関わるテーマなど、加盟校が共通に抱える課題は、大学単独で行うよりもコンソーシアムで実施する意義があると考えられる。今後も継続して時宜を得たテーマで講演会等を実施頂きたい。加えて、加盟校教職員の交流促進も期待する。	開催数：3回以上/年	1回(2023年9月6日開催)	各年参加者数50名以上	130名(内加盟校75名)
事業報告③	<FD・SD情報交換会、セミナー等の開催> 内部質保証システム等に関するFD・SDセミナー等の開催	4	4	認証評価等において、近年内部質保証が重視されている一方で、加盟校においては体制作りから実質化まで、苦慮されている現状があると思われる。単発のセミナー開催にとどまらず、継続的に加盟校に役立つセミナーの開催や共同研修等、教職員間の交流促進を図る仕組みを検討頂きたい。		2回 (2024年2月～3月開催予定・ 計画通りに進めば達成予定)		2024年2月～3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)

## ⑦ 企画運営委員会

	プログラム名	対到達目標	対継続性	改善提案	活動指標	活動指標に対する実績	達成目標	達成目標に対する実績
事業報告①	・リカレント教育の普及促進に向けた取組 ・加盟校のリカレント教育に関する情報発信	4	4	兵庫県からも県内大学におけるリカレント教育の取組促進がコンソに対して期待されていることから、本取組を継続していることは評価できる。先進事例や課題を共有し、加盟校のリカレント教育の普及に寄与することを期待する。	大学・企業関係者による 講演・意見交換会 (年1回以上)	2024年3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)	・各年参加者数50名以上 ・各年10校以上	2024年3月開催予定 (計画通りに進めば達成予定)
事業報告②	・大学間・地方自治体・企業・地域団体との連携体制の構築 ・緊急時の加盟校間の協力・情報提供体制の構築	4	4	企画運営委員会及び、ひょうご産官学連携協議会等での懇談については次年度以降も定期的に実施し、産官学連携の関係強化、及び事務局体制について意見交換会を行って頂きたい。 企業課題解決プログラムに関しては、産学連携を促進し、企業と教育機関との協力関係を構築する機会となり、学生の実践的学びと県内企業理解につながる為、次年度も継続して頂きたい。 緊急時リスクマネジメント体制の構築は、定期的な見直しと改善を行い、新たな課題や変更に対応できるよう検討を重ねて頂きたい。	大学・企業関係者による 講演・意見交換会 (年1回以上)	・企画運営委員会(原則、月1回開催) 9回実施済 年度内計12回実施予定 ・産官学連携協議会：1回実施 ・産業界との意見交換会：2回実施予定 (11月末時点)	大学間連携の特徴を生かした地方自治体・企業・地域団体との連携の拡充と、緊急時の情報共有・ネットワーク体制の構築	・企画運営委員会、産官学連携協議会、産業界との協議、意見交換及び、企業課題解決プログラムの実施に更なる連携拡充 ・「リスクに関する情報連絡会」を開催し、具体的な運用体制についての議論を実施
事業報告③	加盟校が活性化する事業運営体制の整備と推進	4	4	事務局運営の効率化、プロセスの可視化、情報管理や共有に関しては、継続的な評価と改善を行い、最適な効率化を図る必要があるため、継続して取組みブラッシュアップして頂きたい。アンケート等で導き出された「コンソの役割」(①PR・プロモーション ②学内業務の効率化 ③外部資金の調達)については、次年度以降、適宜、企画運営委員会、各事業委員会等で協議し、実施に向けて改善して頂きたい。	企画運営委員会等における 懇談の実施(年10回以上)	・企画運営委員会 (原則、月1回開催) 9回実施済 年度内計12回実施予定	加盟校の共通課題に協働して 取り組む事業運営体制の構築	事業運営体制の効率化、 情報管理・共有のための媒体の整備 コンソの役割の明確化

<自己評価基準>

対到達目標：4：当初計画を上回って達成 3：当初計画を達成 2：当初計画をやや下回った 1：当初計画を下回った

対継続性：4：本プログラムは継続すべき 3：本プログラムは継続しても良い 2：本プログラムの継続には改善が必要 1：本プログラムは中止すべき

## 【2024年度 国際交流携委員会 事業計画】(案)

委員長校	兵庫県立大学
副委員長校	神戸市外国語大学
委員校 (全:28校) ※2023年度 登録大学	明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、関西学院大学、聖和短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部

中長期計画Ⅱ期の取組課題/達成目標/活動指標	
課題	課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進
取組1	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(申請予定) (※日本学生支援機構へ同事業の公募に申請予定。受託不可の場合は改めて取組内容をご審議頂きますことご了承ください。 2月20日申請締切、3月上旬採択選定通知)
達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
活動指標	各年参加者数500名以上
取組2	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②模擬国連演習(JUEMUN) ③事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム
達成目標	本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の80%以上 (期間中2回測定)
活動指標	プログラム数10件以上

目的
「国際都市神戸」を有する兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟するコンソーシアムとしてグローバル人材育成を目指した事業を展開する。

課題⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進			
予算額	【取組1】	兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業(申請予定)	9,625,000円 * 受託事業収入予定
	【取組2】	加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 ①学生海外派遣プログラム ②模擬国連演習(JUEMUN) ③事業年度内で加盟校で企画・実施し、加盟校に開放された国際交流プログラム	50,000円

期待される効果
<p>1. 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業 学生が主体的に学ぶことによる行動の変容、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズの取組促進、高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。</p> <p>2. 加盟校の国際交流プログラムとの連携促進事業 各加盟校の強み・特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、幅が広がるのが期待される。 また、加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。</p>

## 2024年度 国際交流委員会 事業予算(案)

(単位:円)

		予算	各プログラム 予算				委員会 予算	
			【取組1】		【取組2】			
			兵庫国際交流会館における 国際交流拠点推進事業 (JASSO受託事業申請予定)		加盟校の国際交流プログラムとの 連携促進事業			
			内訳	予算額	内訳	予算額		
収入	会費収入	50,000				50,000		100,000
	助成事業収入	0						
	受託事業収入	9,625,000	JASSO受託事業収入(予定)	9,625,000				
	プログラム収入	0						
	雑収入	0						
	戻入金	0						
	計	9,775,000		9,625,000		50,000		100,000
支出	会議費	100,000	会議費	80,000			会議費	20,000
	旅費交通費	140,000	旅費	100,000	旅費交通費	20,000	旅費交通費	20,000
	通信運搬費	70,000	郵便、通信費	50,000			通信運搬費	20,000
	消耗品費	50,000	消耗品費	50,000				
	新聞図書費	10,000	新聞図書費	10,000				
	印刷製本費	30,000			印刷製本費	30,000		
	光熱水料費							
	賃借料	40,000	賃借料	40,000				
	保険料		保険料					
	謝金	1,191,000	諸謝金	1,161,000			謝金	30,000
	租税公課							
	支払手数料	22,000	振込手数料	22,000				
	諸会費							
	委託費	852,000	HP制作費・業務委託	852,000				
	人件費	7,260,000	コーディネーター	7,260,000				
	接待交際費							
	支払支援金							
	雑費	10,000					雑費	10,000
	計	9,775,000		9,625,000		50,000		100,000

収入-支出	0
-------	---